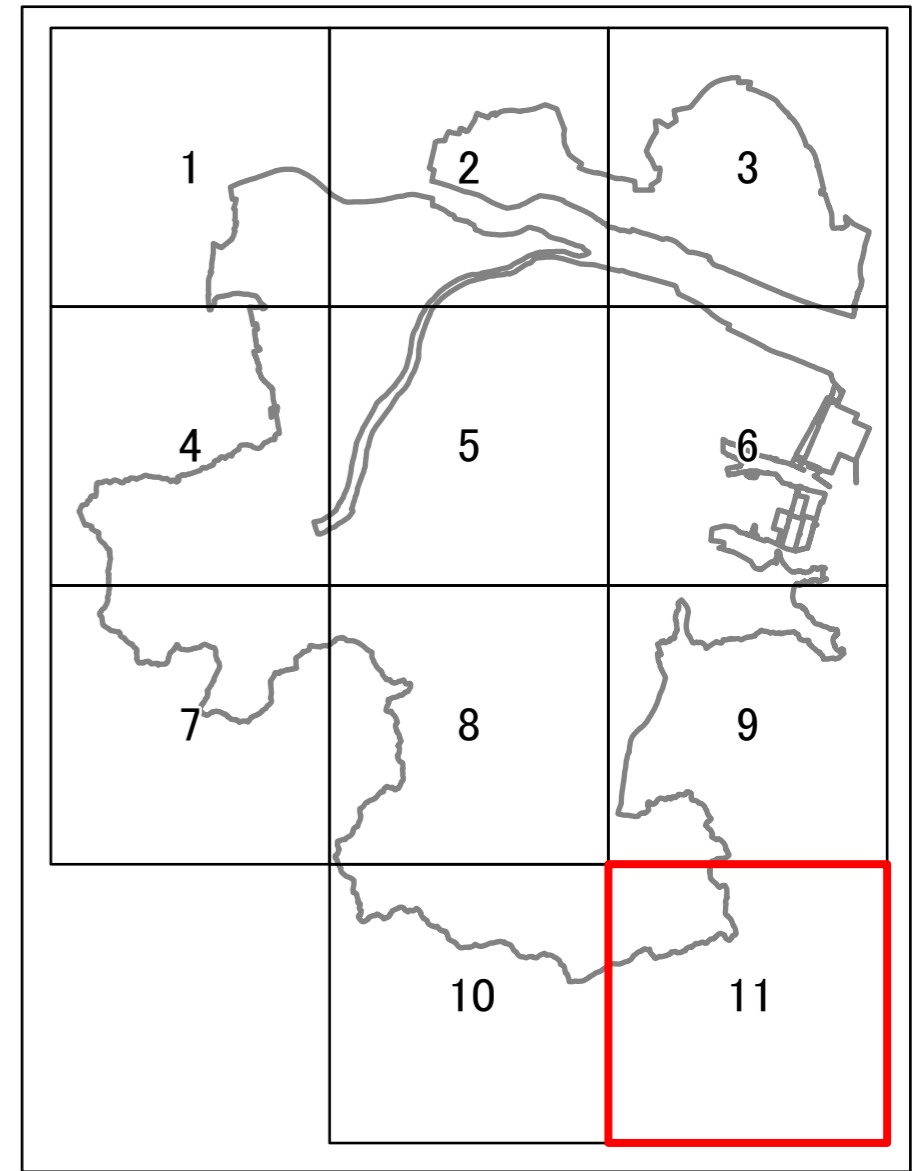
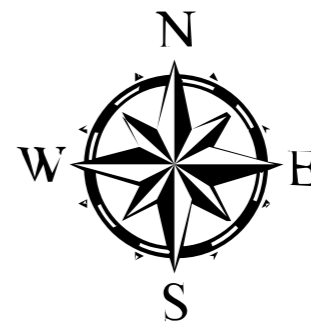


■地震に関する地域危険度マップ

16



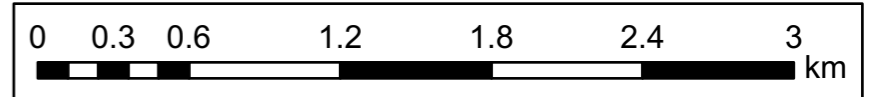
■地震に関する地域危険度マップとは
 地震に関する地域危険度マップとは、地震による揺れによって発生する建物被害の分布を、相対的に表したものです。震度分布に建物の構造(木造・非木造)と築年データにより、建物に被害が生じる程度を「危険度」として表しています。この「危険度」は、50mごとに分割した地域に建っている建物の中で、全壊する建物の割合により設定しています。危険度の数値が大きいほど地域の建物が受ける被害が大きくなります。



地震に関する地域危険度マップの凡例

		地域内の建物の中で全壊する建物の割合
危険度6	50 ~ 100%	
危険度5	40 ~ 50%	
危険度4	30 ~ 40%	
危険度3	20 ~ 30%	
危険度2	10 ~ 20%	
危険度1	0 ~ 10%	

縮尺: 1:30,000



※背景出典: 基盤地図情報基本項目(国土地理院ウェブサイト<https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>)を活用